

Posten Norge とインフォシス、次世代 IT サービス 管理機能を共同開発

Infosys Cobalt の AI を活用した Infosys Enterprise Service Management (ESM) Café が
ServiceNow の導入を加速

オスロ (ノルウェイ) – 2021 年 10 月 26 日:次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は本日、Posten Norge による IT サービス管理機能のデジタル変革のための戦略パートナーに選ばれたことを明らかにしました。インフォシスはこの提携を通じて、クラス最高水準の IT サービスデスクを確立し、Posten Norge の IT プロセスを新時代のソフトウェアサービス提供メソッドに適したものと変化させます。

この変革では、業界トップの次世代 IT サービス管理プラットフォームである ServiceNow の導入も行います。インフォシスは ServiceNow の導入を加速し、[Infosys Cobalt](#) の一部である、AI を駆使した即導入可能な [Enterprise Service Management Café](#) ソリューションを用いて、現行の戦略投資の価値を拡大します。

このソリューションと、世界の郵便・物流業界の組織との長年の取引で培ったインフォシスの豊富な専門知識を用いることで、Posten Norge はイノベーションを加速し、変化し続ける顧客ニーズに俊敏に対応できる体制を整えます。さらに、この連携では、Posten Norge とインフォシスによる顧客向けデジタルソリューションの共創も実現します。

Posten Norge のグループ CIO である Arne Erik Berntzen 氏 は次のように述べています。「弊社は、北欧地域の人々や企業のために、通商や通信の価値を単純化し拡大することにより、日々の生活をよりシンプルにして、世界を近づけることを目指しています。インフォシスが戦略パートナーとなったことで、同社の能力と経験を活かした IT プロセスの変革ができるようになったと確信しています。インフォシスとのやり取りから、同社がサービス提供の近代化への熱意とそれを実現する能力を持ち合わせていることや、未来志向の IT サービス管理機能を構築することで、お客様により大きな価値を創造できるということが分かりました。」

インフォシスの EVP 兼消費者、小売、物流部門グローバル部長である Karmesh Vaswani は次のように述べています。「弊社は、郵便・物流業界で変革を率いた豊富な多岐にわたる経験を活かし、Posten Norge と共に、

同社の業務を進化し続ける市場と顧客のニーズに対応できるものに変化させる取り組みができることを楽しみにしています。スピード、俊敏性、効率が Infosys Cobalt が Posten に提供できるソリューションのセットであり、競合他社と一線を画すクラス最高水準の顧客体験を提供する上での中軸となります。また、今回の提携では、両組織の機能を補完的に融合し、お客様向けのデジタルソリューションを開発できることも楽しみにしています。」

Posten Norge について

Posten Norge AS は郵便・物流のグループで、北欧地域を主な市場として、郵便サービスや通信、物流の統合ソリューションを開発し提供しています。Posten Norge は「日々の生活をよりシンプルに、世界をより身近に」のビジョンを掲げています。Posten と Bring という 2 つのブランドがあり、Posten がノルウェーの消費者市場に注力する傍ら、Bring は北欧地域の法人市場を対象としています。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書

面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

マーケティング本部 安藤

Mail: mktg_jp@infosys.com